



氏名 浅井仁

年齢 60

所属 金沢大学

立候補の趣旨

今回、日本ウィメンズ・メンズヘルス理学療法研究会の理事に立候補いたします浅井仁と申します。私は、これまで大学教員として中枢神経疾患に対する理学療法に関する科目を担当し、ヒトの姿勢制御における体性感覚情報の役割を研究してきました。そして、理学療法教育におけるウィメンズヘルス・メンズヘルス教育の重要性を痛感し、5年前より「ライフサイクル理学療法学」という科目を立ち上げ、2020年度の指定規則改正に合わせて必修化しました。この科目は、ライフステージを踏まえた体の変化に対応する理学療法について教授する科目です。ライフサイクルと身体変化機能形態学的な性差、加齢と排尿、排尿ケアチームについての講義のほか、周産期、女性特有のがんについての講義をしています。

北陸は排尿ケアチーム医療の先駆的な地であります。私もこれまで排尿ケアチームに関するPT、OTおよび看護師を対象とした研修会に本学看護学専攻の先生と携わって参りました。この分野に関する研究も本学理学療法学専攻の教員を中心に多職種連携による骨盤底筋のグラビティMRIによる解析に参加しております。本学のMRIは抗重力肢位での撮像が可能なもので新たな知見が得られることが期待されます。

また、本研究会の研修会、学術集会に参加する中で、研究に関する基盤を充実させる必要性を感じておりました。これまでの私の研究経験をもとに本研究会の学術基盤の充実に貢献したいと考えております。研究結果をもとに治療理論を明確にし、治療効果を通してエビデンスを積み重ねることは、理学療法を学問として体系化するために不可欠です。一人でも多くの会員が治療理論についての活発な討議ができる環境を作りたいと考えます。

役員歴

- ・ 2021年 10月 第24回日本神経理学療法学会サテライトカンファレンス集会長
- ・ 2021年 6月～現在 日本神経理学療法学会理事
- ・ 2017年 5月～現在 日本理学療法士協会代議員、石川県理学療法士会監事
- ・ 2008年 5月～2017年4月 石川県理学療法士会相談役
- ・ 2004年～2011年雑誌「理学療法学」査読委員
- ・ ～現在 日本理学療法学術大会および分科学会（神経、基礎、運動器）演題査読